

申請日 令和5年 6月 1日

明日に架けるたるみ応援ハートブリッジ助成申請書

垂水区社会福祉協議会
理事長 様

この度、下記活動を行うにあたり、明日に架けるたるみ応援ハートブリッジ助成を利用したいと思いますので、関係資料を添えてここに申請いたします。なお、当制度を利用するにあたっては、垂水区社会福祉協議会が定める「たるみ応援ハートブリッジ助成要綱」の規定をすべて了承しており、同規定を違反したことによる決定の取り消しについて異議を申し立てません。

記

1. 事業の名称

不登校の子どもの地域活動参画支援 事業

2. 事業の規模など（※申請が10万円以下の場合はBの小規模助成に○印）

(1 新規) (A 一般助成) (B 小規模助成)

3. 助成金申請額（※千円未満を切り捨てして申請してください。）

225,000 円 (申請事業の事業費総額 227,322 円)

4. 実施の日程

令和5年 8月 12日 ~ 令和6年 3月 31日

※1 申請書は鉛筆書き不可です。ボールペン書き、またはパソコンで入力しプリントアウトしたものを提出してください。

※2 申請書提出時に、別紙申請書類チェックリストにより、申請に必要な書類がすべてそろっているかご確認ください。

(団体名) NPO 法人●●●●

団体の概要

1) 団体の連絡先

団体	名 称	NPO法人●●●●		
	代表者氏名	(役職・氏名)代表 垂水 太郎		
	住 所	神戸市垂水区日向 1 丁目 5 番 1 号		
	電 話 番 号	078-708-5151	F A X	078-709-1332
	ホームページ	http://www.tarumi-csw.or.jp/		
連絡担当者 (上記と異なる部分のみ記載してください)	担当者氏名	(役職・氏名) 副代表 東垂水 花子		
	住 所			
	電 話 番 号		F A X	
	携 帯 番 号	090-AAAA-BBBB		
会計担当者	E - m a i l	info@tarumi-csw.or.jp		
	氏 名	西垂水 一郎		

2) 団体の情報

設立年月日	平成 22 年 8 月 1 日	団体構成員	15 名
設立の目的	当法人は、学校に行きづらい不登校などの子どもに対し、居場所の提供と学び支援を行うことを目的に設立した。		
年会費(種別等)	当法人の目的に賛同する個人並びに団体であれば、入会可。		
主な活動実績 (スペースが足りない場合は、別紙に記載し、表彰歴があれば合わせて記載してください。)	年 月	内 容	
	平成 23 年 3 月	〇〇基金助成事業 建築学習プログラム実施	
	平成 25 年 9 月	神戸市地域活動賞受賞	
	平成 29 年 6 月	△△省〇〇対策推進事業受託	
	令和元年 4 月	神戸市居場所づくり助成事業実施	

3) 団体の財政状況 (※ B 小規模助成の申請団体は記載不要)

令和 4 年度繰越額	400,800 円
令和 3 年度繰越額	327,000 円
繰越金がある場合理由を記載する事	<p>=繰越金が必要な理由=</p> <p>当団体は、利用者が納める利用費が主な事業収入となっているため、利用者の増減が運営に影響しやすい。そこで、安定した活動が継続できるよう、4 か月分の活動資金に相当する 30 万円を確保するようにしているため、上記のような繰越額となっている。</p>

(団体名) NPO 法人●●●●

事業の概要**4) 申請事業の概要** (※この記述をもとに、事務局から審査員に説明をしますので詳しくご記入ください)

事業名称	不登校の子どもの地域活動参画支援 事業
概要 (各項目の設問に沿い、数字などを示しながら具体的に記述してください)	1. 私たちは、日頃、次の活動に取り組んでいます 私たちは、不登校の小・中・高校生を対象に、学習支援と居場所の提供を行っています。
	2. 活動の中で、次の課題があると考えました 対象の子どもたちは、人の役に立つ経験をする場・機会がなく、地域社会につながるきっかけを失っていると考えられます。 文科省の発表によると小・中学生の不登校者数は全国で約 28 万人といわれている。令和 4 年度神戸市の報告ではおよそ 3,000 人の小中学生が不登校との報告があり、神戸市が 9 区あることから単純計算しても、垂水区では少なくとも 300 人が学校に行けない状況にあると推測される。現在、当法人では、29 名の不登校生を支援しており、これは区内の 1 割に相当するといえる。
	3. 申請する事業の内容と、対象者やおおよその人数は次の通りです (※物品購入の場合は、具体の購入物と恩恵を受ける人や人数を記載) 区内で不登校状態の小・中・高校生 (100 名) を対象に、垂水区の地域団体主催の地域行事へ参画する機会 (きっかけ作り) として、彼らと缶バッジを製作し、それらを、ガチャガチャを使い地域行事で販売することで、彼らと地域社会の相互交流を促進します。
	4. 事業の実施スケジュールは次のとおりです (※この項目は、物品購入事業の団体に限り記載は任意です。) 9 月 資材・備品を購入 10 月 参加者を募集し、参加者と缶バッジのデザインを検討し、制作 11 月 地域の行事に出店 (以降月に 1 回のペースで出店) 3 月 報告書を作成、提出

※上記に書ききれない場合は、別紙資料として追加してください。(様式自由)

(団体名) NPO 法人●●●●

助成金で行う事業の収支予算書 (イベントや物品購入に関係する部分のみの収支)

■収入 ※本助成金は赤い羽根共同募金と善意銀行預託金を財源としています。自己資金や参加費等の活用を検討してください。

項目	内 訳	金額(円)	助成金
助成金	明日に架ける「たるみ応援ハートブリッジ助成」	225,000	225,000
参加費			/
売 上	缶バッジ売上 @100×20=2,000 円	2,000	
自己資金			
寄 付		292	
合 計(a)		227,292	225,000

■支出 ※積算内訳は、実際に要する金額を記入するようにしてください。(見積書がある場合は、その金額を記載してください)

項目	積算内訳	金額(円)	助成金充当額
交通費	デザイナー打合せ@310×2×3回(JR三宮～垂水)=1,860円 区内団体打合せ @210×2×7回(バス垂水区内)=2,940円	4,800	4,800
謝 金	デザイン講師謝金@25,000×3回=75,000円	75,000	75,000
消耗品	缶バッジ製作費 @60×17種×50個×2回=102,000円 カプセル代金 @23.52×200個×3セット=14,112円 水性ペン @1,080×3セット=3,240円 A4コピー用紙 @234×1個	119,586	119,586
印刷費	チラシ印刷費(200部) @6.48×200=1,296円	1,296	1,296
通信費	郵送料 @84×15ヶ所=1,260円	1,260	1,260
使用料			
備品費	カプセルステーションVハーフ @22,140×1個	22,140	22,140
保険料			
手数料	振込手数料 @324×10件=3,240円	3,240	918
修繕費			
参加費			
その他			
対象外経費			/
合 計(b)	合計額の(a)と(b)が一致するようにしてください	227,322	225,000

対象となる経費 消耗品、印刷費、通信費、使用料、備品費、保険料、手数料、修繕費、参加費
 対象とならない経費 人件費、運営費、茶菓代、水道光熱費、(それぞれの詳細はご案内を参照ください)